

南木曾小学校 卒業式 あいさつ （ 要旨 ）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の健やかな成長心よりお喜びを申し上げます。誠におめでとうございます。先生方には、日頃より子ども達を暖かな目で見守っていただいています事、またコロナ禍という大変な状況乗り越えて卒業にお導き頂いた事に敬意と感謝を申し上げます。

さて卒業生の皆さん、今から6年前この体育館に初めて入ってきた入学式の日のことを覚えているでしょうか。あれから6年。体が大きく、力も強くなり、色々な動きも出来るようになりました。気持ちも大きくなりました。自分で考え、自分で行動できるようになりましたし、時には周りのことも考えながら行動が出来るようにもなってきました。本当に体も心も大きくなった6年間でした。

皆さんは4年生の時に私町長と教育長を呼んで防災学習の取り組みについて自分たちの考えを発表して、5年生で竈ベンチを作り上げ、6年生の時は学習の成果を大勢の前で堂々と発表をしてくれました。自分達の考えや思いを行動に移し、形に表すという本当に素晴らしい取り組みでしたし、クラス全体は勿論のこと、一人一人が大きく成長をしていることと思わせる活躍ぶりでした。

4月からはいよいよ中学生です。中学生になれば、これまで以上に自分達で考え、行動する機会が増えてきます。勉強や部活でも同じことです。少し心配や不安もあるかもしれませんが、小学校での成果を自信として、新しい生活に臨んでいって下さい。これからもお父さんお母さんは勿論のこと、町中の人々が皆さんを応援しています。皆さんにはそんな故郷なごそがあります。その故郷の中で、皆さんが一步一步大人の階段を確実に歩いていってくれることをこれからも楽しみにしたいと思います。

もう少しすると桜が咲き、真っ赤なツツジが咲いて、山は緑色に変わっていきます。その頃皆さんはもう立派な中学生です。これからもみんなで仲良く元気よく学校に通い、卒業される全ての皆さん一人一人がすすくと成長してくれるのを楽しみにしながら、卒業に当たってのハナムケの言葉、お祝いの言葉とします。今日は本当におめでとう。